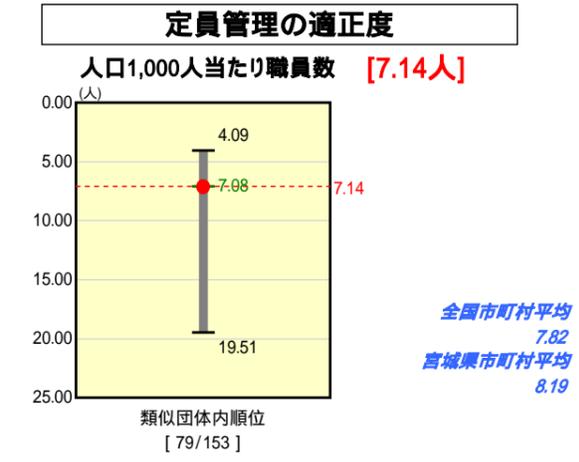
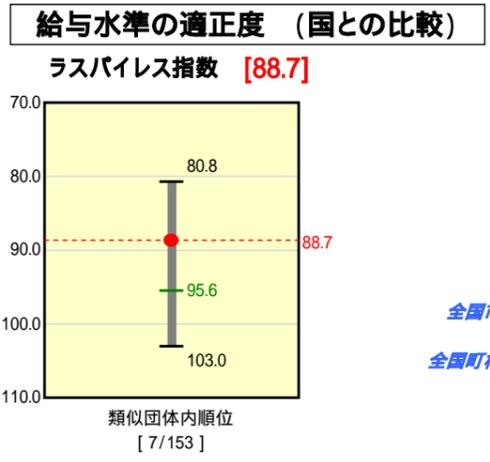
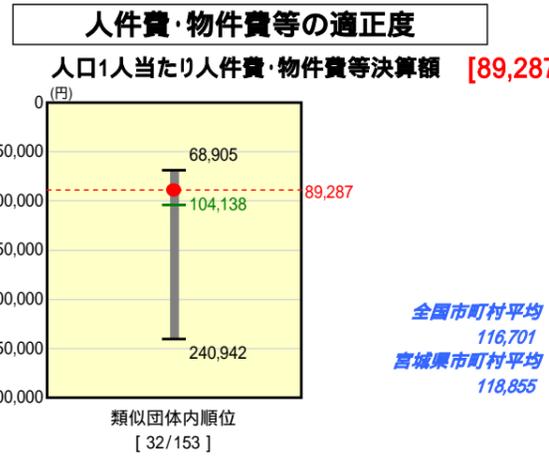
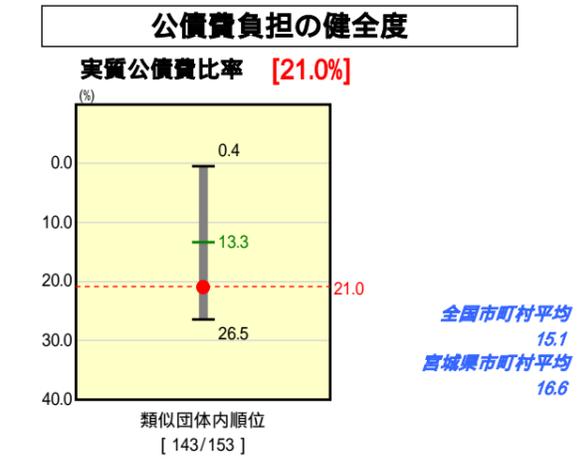
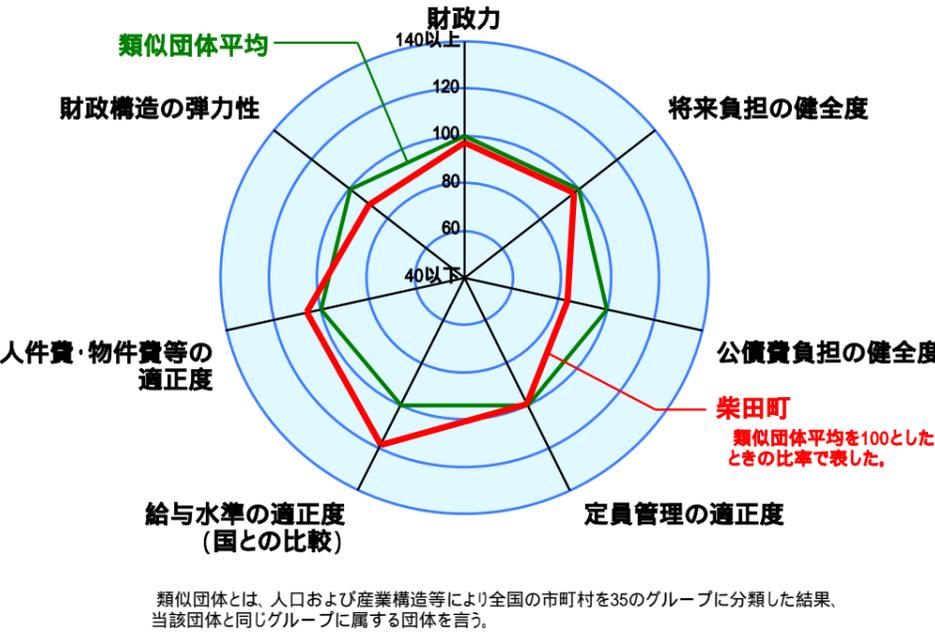
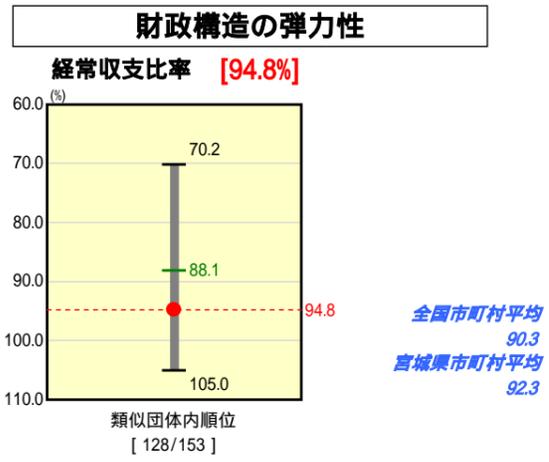
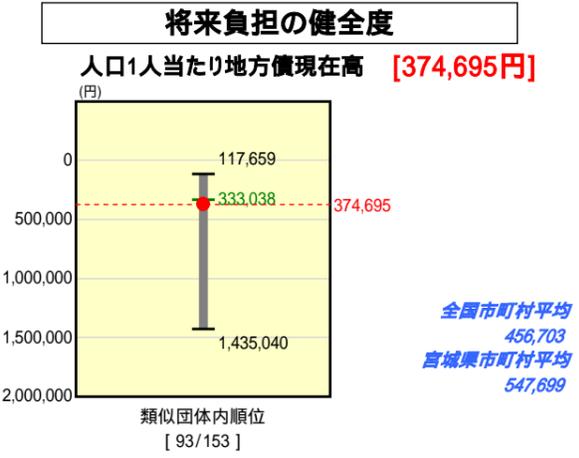
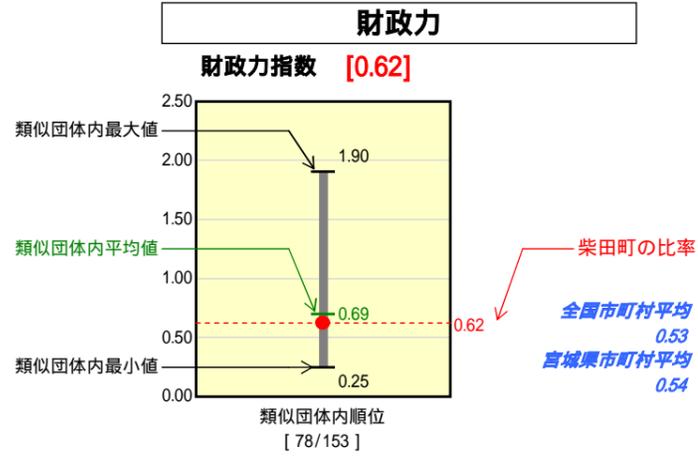


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

宮城県 柴田町

人口	39,230	人(H19.3.31現在)
面積	53.98	km ²
歳入総額	11,173,444	千円
歳出総額	11,087,469	千円
実質収支	77,732	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
町税について、昨年度と比べ町民税は増加したが、固定資産税(土地、家屋)が減少したので総税収額が同額程度となったため、当該指数も横ばいの状態である。

経常収支比率
繰出金及び公債費の増加により94.8%と類似団体平均を大きく上回っている。今後「集中改革プラン」に掲げたとおり、新規採用の抑制による職員数の減(H17.4.1現在職員数339人からH22.4.1まで職員数を312人にする。)による人件費の削減や、公債費を削減するため地方債発行を抑制するなど経常経費の削減に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
昨年度は類似団体平均104,546円に対し当町は95,721円であったので今年度数値はより改善されているように見えるが、維持補修費等は逼迫した財政状況により削減せざるをえない状況であり充実した内容とは言い難い。

ラスパイレース指数
当該数値88.7%はH19.4.1現在の数値なので、職員給与5%カット分が反映されている。(H18.4.1現在では92.4%)引き続き地域の民間企業の平均給与の状況を踏まえるなどして給与の適正化に努める。

人口1人当たりの地方債現在高
過去の大型事業(新米、大沼通線整備、公営住宅整備等)の実施により町債残高が類似団体平均を上回っている。今後新規町債発行額を抑制し、残高縮小に努める。

実質公債費比率
過去の大型事業による公債費や公共用地の先行取得等(債務負担行為)による準公債費がピークを向かえ、又、下水道特別会計への繰出金、広域行政事務組合、みやぎ県南中核病院への負担金のうち公債費に充当した額が大きいため21.0%と県内市町村平均及び類似団体平均を大きく上回っている。債務負担行為に係る準公債費は平成19年度以降大幅に減額するが、公債費は平成22年度までは17億円台が続く見込みであり、更に当該比率算出方法が3ヵ年平均であることから当分改善されることは難しい見通しである。

人口1,000人当たりの職員数
定員管理計画、集中改革プランに基づいた退職職員の不補充などによる定員削減を図り、類似団体平均並みとなっている。今後も計画に沿って平成22年度には職員数を312人(対H17削減率7.9%)まで削減する等、より適切な定員管理に努める。